

令和6年度第2回
龍ヶ崎市子ども・子育て会議

日 時：令和6年8月21日（水）午前10時～

場 所：龍ヶ崎市役所5階第1委員会室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について

・関係団体ヒアリング・子育て座談会の結果について（資料①）

・第3期計画の骨子（施策体系）について（資料②）

（2）その他

4 閉 会

関係団体ヒアリング・子育て座談会の結果について

資料①

件名	第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画策定に係る団体ヒアリング
年月日	令和6年4月22日（月）
時間	午後1時から午後2時30分まで
場所	龍ヶ崎市役所附属棟1階第3会議室
出席者	社会福祉法人育心会 社会福祉法人桜光会 社会福祉法人朱白会 社会福祉法人山ゆり会 市：こども家庭課
内容	<p>市内で保育園を運営している事業者に対し、子育てに関する意見等を伺った。主な意見等については下記のとおりである。</p> <p>【子ども・子育て会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議の委員に民間保育所から1名委員として入れてほしい。 <p>【こども誰でも通園制度について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県ではどこも手を挙げておらず、試行的に水戸・笠間・筑西で実施することとなっているが、現場としては保育士が不足しており、実施は厳しい状況である。 ・どのような性格をしているか等、子どもを知らない状況で預かるのは難しい。 ・通園のニーズがあれば実施すると思うが、園の空き状況がないという現状を考えると実施は厳しい状況である。 ・実施した場合には子どもがいつもと違う環境からストレスを感じ、泣き始める子どもが出ると考えられる。そのような状況の場合、泣いている子ども1人に対し、保育士1人が付くことを考えると難しいと思う。 <p>【保育士の確保について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に保育士の確保が課題となっており、龍ヶ崎で就職したとしても、近隣の自治体の園に移ってしまうことがある。 ・保育士を養成する学校等が閉校しているとともに、保育士を目指す人も少なくなっている現状である。 ・茨城県と龍ヶ崎市で実施している「保育士等就学資金貸付金」は保育士を目指す人にとって、一つのモチベーションとなっていると思う。 ・他市では、保育士に対して手当を出しているところもある。経済的な支援があれば保育士を目指す人や保育士にとってよいと思う。

【発達障害等の支援を必要とする園児について】

- ・発達障害等のお子さんは保育の手法を変えることが必要であり、早い段階からつぼみ園等で保育を受けた方がよいと思う。

【子どもの居場所づくりについて】

- ・子どもの居場所として、特に小学生のフリースクールを認めてあげることがよいのではないか。

【子育て施設について】

- ・龍ヶ崎には0～3歳がゆっくり遊べる公園がないと感じる。小さい子が遊べる施設や公園は必要である。
- ・近隣の自治体では保健センターに子どもの遊び場を建設している。
- ・雨が降った時でも利用できる、室内で遊べる遊び場があるとよい。

【市の子育て施策について】

- ・今後の子育て施策について、予防接種や外国人向け、LGBTQ 向けの事業等、目玉となる事業があるとよい。

件名	第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画策定に係る団体ヒアリング
年月日	令和6年4月25日(木)
時間	午後1時30分から午後2時30分まで
場所	さんさん館喫茶コーナー
出席者	NPO 法人テディ・ベア 市：こども家庭課
内容	<p>市内で子育て支援に関する事業を実施している団体に子育てに関する意見等を伺った。主な意見等については下記のとおりである。</p> <p>【ファミリーサポートセンター事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のサポーターの人数は100人近くいるが、実活動人数は20人ほどであり、人数の確保とサポーターの高齢化が課題である。サポーター登録のみだけで、活動していないサポーターが多いのが現状である。 ・サポーターは利用者からの依頼がないと成り立たないため、仕事とするのは厳しい。 ・本事業は県内でもトップクラスの活動件数があるため、利用者のニーズは高い。 <p>【リフレッシュ保育について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ保育の利用は増加している。 ・0～1歳は子ども1人につき大人が一人つくため、利用者からは喜ばれている。 ・他自治体ではリフレッシュ保育の利用時間に制限があるが、龍ヶ崎は制限がないことがよいところだと思う。 <p>【子育て支援サービスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎には児童館がないため子どもの居場所としてあるといいと思う。 ・市の西部地区にリフレッシュ保育があるとよいのではないか。 ・ケガや物損などの責任問題の課題があるが、各小学校の余裕教室を保育ルームとして開放してもよいのではないか。 ・遊具を設置する場合は、安全に配慮して設置してほしい。 ・子育て施策を行っていく上で、市がどのような子どもを育てていきたいかがポイントである。

件名	第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画策定に係る団体ヒアリング
年月日	令和6年4月25日(木)
時間	午後3時20分から午後4時30分まで
場所	子ども食堂実施場所
出席者	認定特定非営利活動法人 NGO 未来の子どもネットワーク 市：こども家庭課
内容	<p>市内で子育て支援に関する事業を実施している団体に子育てに関する意見等を伺った。主な意見等については下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭庁で、子ども食堂を実施しているところを「子どもの居場所」とする動きがある。そのような中、茨城県では子ども食堂を実施しているところは200近くあるが、支援する側(運営側)の人材不足や経済難の団体が課題である。 ・子ども食堂とは別に特定妊婦に対応したマタニティ食堂が必要であると考えている。 ・子ども食堂の利用者数はほぼ横ばいであり、新型コロナウイルス感染症の影響もあるのかもしれないが、以前と比べて見守りを要する子どもが増えた。 ・新小学1年生になる年齢の子で進学準備を自力でできた子どもは少数しかいないため、経済的支援は必要であるが、保護者が就学援助金を受けたとしても子どもの就学のために使用されるか不明なところもある。 ・子ども食堂や無料塾を行っていくなかで、子どもの貧困と不登校には関係性があると感じている。 ・貧困の子どもは、ヤングケアラーとして家事を行っている可能性が高いと感じる。 ・市民へヤングケアラーについて周知をするべきである。 ・保護者の安定した収入が重要であるとともに、その収入でしっかりと子どもを養育してもらうことが貧困対策に繋がる。 ・子どもが大人になるまでの一連の流れで見ることのできる支援制度があるとよい。

件名	市長との子育て座談会
年月日	令和6年6月22日(土)
時間	午前10時30分から正午まで
場所	さんさん館子育て支援センター
出席者	参加者：16組20人 市：市長、福祉部長、こども家庭課
内容	<p>「市長との子育て座談会」を開催し、各テーマに沿って参加者から意見等を伺った。主な意見等については下記のとおりである。参加者の発言には(参)を、市の発言には(市)と記載する。</p> <p>【テーマ① 龍ヶ崎の子育てに関する良いところ・足りないところについて、子育てしやすい“まち”について】</p> <p>(参)さんさん館を利用しており、安心して子どもを預けることができるが、土・日は開館していないため、土・日に子どもを預けたり遊べる施設があるとよい。</p> <p>(参)龍ヶ崎のリフレッシュ保育は理由の如何を問わず預けられるところが良い。</p> <p>(参)一時保育や保育所の園庭開放はとても良いと思うが、市の西側に同様のものが少ないため、そのような機能を増やしてほしい。</p> <p>(市)駅前子どもステーションに同様の機能を持たせるか検討している。</p> <p>(参)さんさん館は3歳までのこどもしか利用することができない。小学生が遊べるような施設が欲しい。</p> <p>(参)市の良いところは子どもが遊べる公園が多いところだと思っているが、雑草が多かったり遊具が壊れていたりするため、適切な管理をお願いしたい</p> <p>(市)現在、除草作業は年2回行っている。また、遊具の改修も検討している。</p> <p>(参)龍ヶ岡公園のトイレは、設置してあるおむつ替えシートが汚れていることがあり、和式のトイレが多く利用しにくく、トイレ内が暗い。このため、おむつ交換するときはたつのこまち龍ヶ崎モールの店舗を利用している。</p> <p>(市)龍ヶ岡公園のトイレは一部改修工事をしているところである。</p> <p>(参)4～6歳のひとりっ子が遊べる子育て施設がない。龍ヶ崎にそのような施設が欲しい。他自治体には0～18歳までが遊べる児童ホールがある。</p> <p>(市)松葉小学校が長山小学校と統合し、統合元の跡地にコミュニティセンター等を作るか検討しており、子育てスペースを入れることも検討していきたいと考えている。</p> <p>(参)龍ヶ崎市駅前に道幅が狭いところがあり、子連れでの歩行に不安がある。また、同駅にある喫煙所の前を通ると子どもが副流煙等を吸い込んでしまうことがあるので改善してほしい。</p> <p>(参)市外から転入してきたが、龍ヶ崎のリフレッシュ保育はよいと思う。足りないところとしては外出した際の授乳できる場所がわからない。</p> <p>(市)市内にあるお店に授乳場所の提供などの協力をもらっている。</p>

(参)お店ではなく授乳スペースや授乳ボックスのようなものだけでもいい。母乳はあげられないということも多い。

(参)ランドセルプレゼントや子育て一時金の支給などを行う予定はあるのか。

(市)現状の予定はない。ランドセルに関していえば、耐用年数の問題などもあり行っていない。

(参)子どもが家の鍵を忘れたときに急遽行ける場所があるといい。

(市)子どもを守る110番の家があるが、子どもが入ったことのない家に上がるのは抵抗があると思う。

【テーマ：② 市の子育て支援サービスの感想やサービス充実のためのアイデアについて】

(参)産前産後家事等支援事業はどの程度で利用していいかわからなかった。具体例があれば利用しやすかったと感じる。また、利用にあたっては申請手続きをし、許可がないと利用できないといったところが利用のハードルを高くしている。1回目はクーポンを配布するといったことで利用しやすくなるのではないかと。年齢制限もあるため緩和されれば利用しやすくなるかと思う。また、SNSなどを活用し案内を行った方がよい。その際に写真や利用者の声があるとよいと思う。

(市)SNS等を活用し使いやすくしていくとともに利用者の声も見える化していきたい。

(参)他市だとベビーシッターを実施しているところがあり、母親が具合が悪いときに面倒を見てほしい。

(参)男性の育休取得について市内企業にも男性の育休取得を促進するような働きかけを行い、企業が協力してくれれば良いアピールとなるのではないかと。

(参)他市では市役所の中に子どもが遊べるスペースを設けている自治体がある。建設中の新保健福祉施設にはそのようなスペースはあるのか。

(市)3階に市民交流スペースを設ける予定であるが、子どもだけで遊べるスペースではない。

(参)市で働きたいと思う魅力的な企業があるとよい。市内で働いていれば子どもと遊ぶ時間が増えると思う。

第3期計画の骨子（施策体系）

No	基本施策	主な取組事項（例）	第2期計画・関連施策
1	幼児教育・保育の提供体制の確保	必 幼児教育・保育の「量の見込み」と「提供体制の確保」 必 教育・保育の一体的な提供の推進（認定こども園化促進に向けた取組） 継 保育士確保のための取組み	基本施策1
2	地域子ども・子育て支援事業の充実	必 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「提供体制の確保」 ①利用者支援事業 ②地域子育て支援拠点事業 ③妊婦健康診査事業 ④乳児家庭全戸訪問事業 ⑤養育支援事業 ⑥学童保育事業 ⑦子育て短期支援事業 ⑧ファミリーサポートセンター事業 ⑨一時預かり事業 ⑩延長保育事業 ⑪病児保育事業	基本施策1、2、3
3	<u>安心して産み育てることができる環境の整備①と育児支援の充実②</u>	新 ①こども家庭センターの設置・運営の充実 継 ①母子保健事業の充実（産前・産後家事等支援事業、産後ケア事業等） 新 ②こども誰でも通園制度の実施検討 新 ②こどもの居場所づくりの検討（放課後児童等対応） 拡 ②地域子育て支援センターの拡充（さんさん館の運営拡充等） 任 ②産前産後休業及び育児休業明けの保育所利用の支援 継 ②保育サービスの充実（リフレッシュ保育事業等）	基本施策2、3
4	すべてのこどもを守り、支える環境の整備	新 こどもの居場所づくりの検討（要支援児童対応） 新 子育て世帯訪問支援事業の実施 新 児童育成支援拠点事業の実施（≡こどもの居場所づくりの検討） 新 親子関係形成支援事業の実施 任 母子家庭等の自立支援の推進 任 こども発達センターとの有機的な連携のための取組み 再 こども家庭センターの設置と運営の充実	基本施策3、4、8
5	仕事と家庭生活が両立できる環境の充実	新 男性の働き方改革促進のための取組み 任 ワークライフバランスの促進	基本施策7

新：新規事業 **必**：必須事業 **任**：任意事業 **拡**：拡充事業 **継**：継続事業 **再**：再掲事業 _____：重点的に実施していきたい事業・取組

令和6年度第2回子ども・子育て会議
事前質問回答表

議事（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について
・団体ヒアリング・子育て座談会の結果について（資料①）

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	○ファミリーサポートセンター事業について 利用者数と活動していないサポーターの現状について。活動していない理由と活動できる体制について
回答	延べ利用者数は4,675人である。ファミリーサポートセンターに登録しているサポーターについては、他に仕事をしながら活動をしている方もいるという状況であり、仕事の都合で活動できていない方もいる。また、送迎はできるが、自宅での預かりはできないというサポーターもいるため、土・日曜日のさんさん館のリフレッシュ保育スペースをファミリーサポートセンター事業の預かりで使用可能な場所として開館することにより、サポーターが活動できる環境を整えている。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	○子育て支援サービスについて 遊具設置の安全配慮について、施設との検討の進め方は (遊具について、ヒアリング内ではどのような話があったのか)
回答	ヒアリングにおいて、各小学校の放課後の余裕教室を開放する話があり、その中で、今後、校庭に遊具を設置する場合の安全性の確保について記載したものである。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	市の子育て施策の目指すものは
回答	子育て施策は、最上位計画である龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030での考え方を踏まえて、子どもの成長と子育て世代を地域全体で応援する環境を整え、喜びを実感しながら安心して子どもを産み育てることができるまちの実現を目指していくことであると考えている。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	○ヤングケアラーについて 市のヤングケアラーの実態とその対応について
回答	ヤングケアラーの実態については、第1回子ども・子育て会議の質問でもお答えしているとおり、令和5年度に市立小中学校の児童生徒を対象とした調査を行った結果、ヤングケアラーの疑いがある児童は8人、生徒は17人であった。特に支援が必要であると思われるケースについては、龍の子支援会議で情報共有を行い、学校や家庭と連携を図り支援を行っている。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	土・日に利用できる施設の希望がありますが今後の検討について
回答	土・日曜日に子どもが利用できる施設の検討について、現在、さんさん館において月1回の土曜開館を行っているところであるが、開館日数の拡充等を検討しているところである。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	松葉小学校と長山小学校の跡地利用について、子育てスペースの検討をしていますがその内容について
回答	子育てスペースは、松葉小学校と長山小学校の跡地利用を考える中で、機能の一つとして可能性があるということであり、明確に方向性が決まっているものではありません。

令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議
質問回答表

令和6年7月19日（金）に開催いたしました令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議内の質問について、回答は下記のとおりです。

- 議事（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針について
・第2期子ども・子育て支援事業計画進捗評価について（資料③）

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	No.98 部活動の地域移行について（文化・生涯学習課） 部活動地域移行について、地域の指導者の担い手はいるのか。 また、より細かいことを教えていただきたい。地域の方々にボランティアでやってもらうことになるのか。ボランティアでは限界があると思う。その辺の進め方はどうなのかというところを聞きたい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の指導者の担い手については、県の運動部活動指導員登録バンクをはじめ、龍ヶ崎市スポーツ指導者バンクに登録をされている方、部活動指導員、顧問の兼職兼業などを指導者の候補として考えております。また、運営団体に在籍している指導者やスポーツ少年団、市役所職員なども担い手として考えているところです。 ・詳細につきましては、今後、検討会等を重ねて決めていくこととなりますが、7年度末までが文部科学省で位置付けた部活動の改革推進期間であるので、まずは休日の部活動地域連携・地域移行を進めていきたいと考えております。令和6年8月からの野球・サッカーの実証事業では、参加生徒が少ない現状もあるので、他種目では1種目1クラブの設立、もしくは既存地域クラブチームへの移行を考えている現状です。 ・地域のボランティアが指導者や活動主体になったりすることも考えられますが、活動場所や活動時間、指導者謝金、運営費等、課題があるので、教育委員会が統括団体となり、主管課や委託業者で連携をしながら休日の部活動の受け皿となる地域クラブの設立に向けて進めていきたいと考えております。

質問者	伊藤 悦子 委員
質問内容	<p>No.105 トイレの洋式化について（教育総務課）</p> <p>トイレの洋式化についてどのような形で現状の割合になったのか。20 から 50 になったのか、48 から 50 になったのか。また、今後はどのような予定か。</p>
回答	<p>市内小中学校の洋式トイレ設置状況のとりまとめを行った平成 27 年 12 月 1 日時点での洋式化率は 40.1%でした。</p> <p>その後、各学校において改修を進め、令和 5 年 6 月 1 日時点では 50.8%が洋式化されています。</p> <p>その後、八原小学校で 1 箇所、川原代小学校で 8 箇所の和便器を洋便器に改修する工事を実施しました。その結果、最新の洋式化率は 51.9%となっています。</p> <p>今年度は、城ノ内中学校で洋式化工事を実施すべく令和 6 年度の補正予算へ所要額の計上を考えています。</p> <p>今後は、各小中学校からの要望を考慮しながら、洋式化の進捗状況や児童生徒数の推移などを鑑みて、計画的に洋式化を進めるとともに、床を乾式化するなど、学校生活における環境の改善に資する整備を行っていきたいと考えています。</p>